



医療法人整理番号		00159	
報告期間	自	令和6年7月1日	
	至	令和7年6月30日	
1 事業報告書の概要			
(1) 名称	医療法人社団吉田医院	分類①から③のそれぞれの項目（⑤は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。） 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。	
分類①	社団（出資持分あり）		
分類②	その他		
分類③	基金制度不採用		
都道府県	兵庫県		
(2) 事務所の所在地	市区町村	高砂市	
	町名・番地	荒井町扇町14-13	
	建物名		
(3) 設立認可年月日	従たる事務所の記載はこちら 平成17年7月7日		
(4) 設立登記年月日	平成17年7月14日		
(5) 理事長の氏名	姓	吉田	
	名	一富	
役員及び評議員の人数	4	理事長を含む人数を記載すること。	
役員及び評議員	記載はこちら		
2 事業の概要			
(1-1) 本来業務（病院、診療所）	記載はこちら		
(1-2) 本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）	記載はこちら		
(2) 附帯業務	記載はこちら		
(3) 収益業務	記載はこちら		
(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	記載はこちら		
(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債	記載はこちら		
(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債	記載はこちら		
(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	記載はこちら		
(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	記載はこちら		
(9) その他	記載はこちら		





1

(介護老人保健施設又は介護医療院(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

[illegible]

**書業報告**

[illegible]

# 事業報告書

[illegible]

書  
告  
報  
業  
事

[illegible]



2.(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

[illegible]

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。  
医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

医療機関閉鎖の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、

これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、

かつ、当該医療運携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

[illegible]

(附)

1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機能を有しており、これらの医療機能が地域における医療連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

1. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。
2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

[illegible]

2-(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

[illegible]

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

[illegible]

田

(注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

## 様式11-2

法人名 医療法人 社団 吉田医院

※医療法人整理番号 0 0 1 5 9

所在地 兵庫県高砂市荒井町扇町14番13号

## 財 産 目 録

(令和 7年 6月 30日現在)

1. 資 産 額	192,474 千円
2. 負 債 額	76,278 千円
3. 純 資 産 額	116,196 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	55,739
B 固 定 資 産	136,735
C 資 産 合 計 (A+B)	192,474
D 負 債 合 計	76,278
E 純 資 産 (C-D)	116,196

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))  
 建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人社団吉田医院  
所在地 兵庫県高砂市荒井町扇町14番13号

※医療法人整理番号 00159

貸借対照表  
令和7年6月30日 現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	55,739	I 流動負債	6,177
II 固定資産	136,735	II 固定負債	70,101
1 有形固定資産	23,165	(うち医療機関債)	
2 無形固定資産	178	負債合計	76,278
3 その他の資産	113,392	純資産の部	
(うち保有医療機関債)	0	科目	金額
		I 出資金	10,000
		II 積立金	106,196
		(うち代替基金)	
		III 評価・換算差額等	
		純資産合計	116,196
資産合計	192,474	負債・純資産合計	192,474

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人社団吉田医院  
所在地 兵庫県高砂市荒井町扇町14番13号

医療法人整理番号	00159
----------	-------

損 益 計 算 書  
自 令和6年7月1日 至 令和7年6月30日

(単位：千円)

科目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			69,606
2 事業費用			53,392
本来業務事業利益			16,214
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			
2 事業費用			
附帯業務事業利益			0
事業利益			16,214
II 事業外収益			54
III 事業外費用			
経常利益			16,268
IV 特別利益			
V 特別損失			
税引前当期純利益			16,268
法人税等			5,012
当期純利益			11,256

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。



法人名 医療法人社団 吉田医院  
所在地 兵庫県高砂市荒井町紙町14番13号

## 関係事業者との取引の状況に関する報告書

## (1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

## (2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
医師	吉田一富	医師	理事長	借入返済	-33	長期借入金	2,026
医師	吉田尚史	医師	理事	借入返済	-2,913	長期借入金	12,146
医師	吉田純代	社員	出資者	借入返済	-3,072	長期借入金	7,909

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 社団 吉田医院  
理事長 吉田 一富 殿

私（注1）は、医療法人 社団 吉田医院 の令和6年会計年度（令和6年7月1日から令和7年6月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和7年8月12日

医療法人 社団 吉田医院

監事 吉田 睦

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。